

第5次中期計画

(令和8年度～令和13年度)

公益社団法人 安城市シルバー人材センター

第5次中期計画の策定にあたって

1 第5次中期計画策定の趣旨

安城市シルバー人材センターは、設立から45年を迎えようとしている中で、地域社会との絆を大切にしながら、高齢者の皆様の生きがいと働く喜びを支えてまいりました。今、私たちは大きな時代の節目に立っています。これまでセンターの活動を力強く牽引してこられた団塊の世代の会員がより高い年齢層へと移行し、高齢化がさらに進む中で、私たちを取り巻く環境は今までにないスピードで変化しています。

社会構造に目を向けると、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正により、企業等における65歳までの雇用の義務化や、70歳までの就業機会の確保が努力義務化されるなど、高齢者が社会の担い手として長く活躍することが期待される時代となりました。こうした中、企業等を退職した後の受け皿として、当センターに対する地域の期待はますます高まっており、高齢者が持つ知識・経験・技能を活かした就業機会の拡充が強く求められています。

さらに、デジタル化の波、最低賃金の上昇、そして近年の猛暑といった環境の変化にも直面しています。本計画では、引き続き「会員の拡大」を重点課題としながらも、ワークシェアリングによる安全で公平な就業機会の提供、経済情勢に連動した適正な契約金額の獲得、そしてデジタル技術の活用による迅速な情報伝達と事務局運営の効率化を新たな柱に掲げました。

会員アンケートで寄せられた切実な声に真摯に向き合い、誰もがいきいきと働き続けられる「生涯現役社会の安城モデル」を構築してまいります。私たちは今後も、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員と職員が一体となって、安城の未来を力強く支える組織を目指してまいります。

2 計画期間

本計画の期間は、令和8年度（2026年度）から令和13年度（2031年度）までの6年間とします。ただし、社会情勢の激しい変化や最低賃金の動向に柔軟かつ迅速に対応するため、計画開始から3年が経過する令和11年度（2029年度）に向けて、中間見直しを実施します。これにより、実効性の高い目標管理と、状況に即した施策への軌道修正を確実にを行い、持続可能なセンター運営を推進します。

令和8年4月

公益社団法人 安城市シルバー人材センター
会長 岩瀬英行

目次

ページ

第1章 目指す姿（センター像）	1
第2章 第4次中期計画(令和4年度～令和7年度)の実績と評価	3
1 数値目標と実績	
2 委員会等が実施した内容	
3 実績データ	
第3章 施策体系	8
第4章 施策内容	9
第1節 目標値の設定	
1 会員数	
2 契約金額	
第2節 目標値を達成するための施策の柱	
1 会員の拡大	
2 就業機会の拡大	
3 安全就業の推進	
4 運営基盤の強化	
第5章 推進体制	16
第6章 会員の行動項目（私たち会員ができること）	19
第7章 関係資料	20
1 中期計画推進委員会設置要領	
2 第5次中期計画推進委員名簿	
3 第5次中期計画推進委員会開催経過	
4 アンケート調査結果	

第1章 目指す姿（センター像）

笑顔でつながる、地域とつむぐ。

～ 安城の未来を支える、シルバーの力 ～

安城市シルバー人材センターは、高齢者が働くことを通じて、生きがいと健康を維持し、地域社会に貢献することを目的としています。

昨今の社会情勢は、現役世代の労働力不足や、最低賃金の上昇、就業を希望する高齢層の多様化など、大きな転換期を迎えています。このような変化の中、私たちは単に「働く機会」を提供するだけでなく、会員一人ひとりが主役となり、「生涯現役社会の安城モデル」を構築することを目指します。

本計画では、以下の3つの視点を中心に、会員や地域社会にとっての「よりどころ」となる組織を築き上げます。

1 会員の笑顔を守り、生きがいを創出する（会員の幸福の追求）

「無理なく、安全に、楽しく」を基本に、会員の年齢や体力に応じた多様な働き方を推進します。仲間との交流を通じて孤立を防ぎ、活動を通じて心身の健康を維持することで、会員とその家族に笑顔をもたらす場であり続けます。

2 地域ニーズに応え、安城の未来を支える（地域社会への貢献）

会員がこれまでの人生で培った豊かな知識と経験は、地域の課題を解決する貴重な財産です。公共施設の管理や生活支援サービスなど、市民生活に寄り添った活動を高品質に提供することで、次世代に住みよい安城市を引き継ぐための力となります。

3 適正な価値の確保と持続可能な運営（持続可能な組織運営）

社会情勢や経済動向に柔軟に対応し、会員が提供する労働力の価値を適正に維持・向上させます。事務局はデジタル技術の活用により運営基盤を強化し、発注者及び会員との信頼関係のもと、時代に即した「持続可能なセンター運営」を実現します。

目指す姿（センター像）に込めた想い

本計画の象徴として掲げたスローガンには、私たちが進むべき未来への決意を込めています。

- 「笑顔でつながる」 仕事を通じた仲間づくりや社会参加によって、高齢期の孤立を防ぎ、会員一人ひとりが心身ともに健康で、笑顔あふれる日々を送れる場であることを約束します。
- 「地域とつむぐ」 会員の皆さんの「得意なこと」や「できること」を、地域の「困りごと」と結びつけ、お互いの笑顔に変えていきます。一人ひとりが主役となって、自分らしく輝きながら、地域と共に歩いていくことを大切にします。
- 「安城の未来を支える、シルバーの力」 私たちは「支えられる側」ではなく、地域を「支える側」担い手です。現役世代をサポートし、次世代へ住みよい街を引き継ぐための力強い原動力として、安城市の未来に貢献し続けます。

●目標指標

施策の柱		現状値 (令和7年度)	目標値 (令和13年度)
会員の拡大	会員数	1,029人	1,227人
	60歳代会員割合	14.3%	20%
就業機会の拡大	契約金額	597,226千円	725,489千円
安全就業の推進	重篤 事故件数	ゼロ (R4～R6 ゼロ)	ゼロ (令和8年度～令和13年度)
	賠償 事故件数	4件 (R4:6件) (R5:4件) (R6:8件)	ゼロ (令和8年度～令和13年度)

第2章 第4次中期計画（令和4年度～令和7年度）の実績及び評価

第4次中期計画に基づき実施した項目ごとの実績及び評価は次のとおりである。

1 数値目標と実績

(1) 会員数

計画期間中の実績は、コロナ禍以前に設定した目標値のため、すべての年度で目標値を下回る結果となった。また、コロナ禍での影響を考慮して修正した全国シルバー人材センター事業協会策定値についても、令和4年度以外は全シ協策定値を上回ることができなかった。定年延長など雇用制度の拡充による影響と考えられる。会員数はコロナ禍である令和元年度実績1,044人を少し下回る人数となっているため、会員を増やすための工夫が必要である。

		令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
会員数 (人)	目標値①	1,122	1,148	1,174	1,200
	全シ協策定値②	1,044	1,138	1,072	1,089
	実績③	1,068	1,068	1,042	1,029
	達成率 ③ / ①	95.2%	93.0%	88.8%	85.8%
	達成率 ③ / ②	102.3%	93.8%	97.2%	94.5%

(2) 契約金額

計画期間中の実績は、すべての年度において契約金額の合計の目標値を達成することができた。

しかしながら、派遣事業の契約金額を比較すると令和4年度以外は目標値には達しておらず、民間企業からの契約の減少が続いていることが影響している。

契約金額 (千円)		令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
目標値	請 負	407,584	411,384	415,183	419,335
	派 遣	116,669	120,299	123,926	127,861
	合 計	524,253	531,683	539,109	547,196
実 績	請 負	422,593	431,687	456,238	470,022
	派 遣	120,778	117,322	120,074	127,204
	合 計	543,371	549,009	576,312	597,226
達 成 率		103.6%	103.3%	106.9%	109.1%

2 委員会等が実施した内容の評価

第4次中期計画評価基準

	評価の内容
◎	目標を大幅に上回っている。(100点)
○	目標に達している。(80点以上～100点未満)
△	目標達成には至っていないが、一定の進捗がみられる。(60点以上～80点未満)
×	目標達成に向けた進捗がみられない。(0点以上～60点未満)

委員会等	評 価				
	◎	○	△	×	計
研 修	2	2	0	0	4
安 全	0	5	1	0	6
広 報	2	1	0	0	3
総 務	4	8	5	0	17
女 性	5	3	1	0	9
就業拡大	0	5	2	0	7
デジタル	3	5	0	0	8
事 務 局	0	14	0	0	14
計	16 (24%)	43 (63%)	9 (13%)	0 (0%)	68 (100%)

大項目	中項目		事業	担当	主な実施内容	評価
会員対策 (入会の 促進)	1	入会説明 会の改善	① 方法、回 数、場所の 工夫	総務	市内福祉センター及び町内会での開催 業務体験入会説明会の開催 ウェブ入会説明会の導入	◎
				女性	女性向け入会説明会の開催 R4～R6 新聞折込みチラシでのPR R7 広報あんじょうでのPR	○
				事務局	入会キャンペーンの実施 体験型入会説明会の実施	◎
			② 内容の工夫	総務	会員（委員）による体験談実施 説明会資料をパワーポイント仕様に整備 ウェブ入会用の資料の見直し	◎
				女性	R4 女性向けチラシの作成 R5 ボイストレーニング R6 座談会 R7 家事援助講習	◎
				事務局	紹介DVDのリメイク実施 求人票のホームページへの掲載	○
	2	入会手続 きの改善	③ 入会までの 工夫	事務局	ウェブ入会説明会の導入	◎
			④ 入会負担の 軽減	事務局	人手不足分野解消のための作業道具の貸 出実施	◎
	3	新入会員 への情報 提供の充 実	⑤ ホームペー ジを活用し た情報提供	デジタル (広報 →)	R6.5月ホームページのリニューアル R7.9月ウェブ 入会説明会の実装	◎
			⑥ ホームペー ジ以外のメ ディアによ る情報提供	広報	会員募集ポスターの制作実施。 市広報に『シルバーあんじょう』の折込 を実施	○
	4	女性の入 会促進	⑦ 女性向けイ ベントの開 催	研修	女性向け入会説明会の開催（ボイストレー ニング、座談会、家事援助講習）	○

	5	センター活動を通じた取り組み	⑧	ボランティアを通じたPR活動	総務	清掃ボランティアの実施 安城七夕まつりゴミかごボランティア実施 桜井地区での清掃ボランティア実施	○
			⑨	ハローワーク等との連携充実	総務	シルバーいきいきフェスタへの参加 ハローワーク就職支援セミナーへの参加	○
	6	市民を対象とした取り組み	⑩	市民参加型事業の実施	研修	業務体験入会説明会の開催（ふすま・網戸張り、家事援助、剪定、草刈り）	○
					女性	女性向け入会説明会における講座及び講習会の実施	○
会員対策 (退会の抑制)	7	魅力あるセンターづくり	⑪	仲間づくり・生きがいづくり	総務	総合ポイント制度の活用センター公式LINE登録による会員間の情報共有	△
			⑫	希望に沿った仕事の開拓・紹介	拡大	仮会員及び未就業会員への定期的な声掛けの仕組み体制づくり	○
			⑬	未就業会員への情報提供・相談	総務	仮会員の業務体験入会説明会への参加呼びかけ ホームページへの求人情報の提供	△
			⑭	会員向けイベントの開催	デジタル (研修→)	スマホ講座開催(R5:69名、R6:77名、R7:82名)	◎
					女性	R4 ボイストレーニング講座の実施 R5 家事援助職班会議の開催 R6 女性会員向け茶話会の実施 R7 洋服の整理術、衣類回収を実施	○
			⑮	情報提供の充実	デジタル (広報→)	情報伝達手段の比較検討実施 R7.7月:公式LINEライトプランに切り替え、登録促進(R8.3月:登録者354名、登録率34%)	◎
					広報	『シルバーあんじょう』に、ゴールド会員の記事や高齢会員の記事を掲載し、退会抑制に取り組んだ。	○
事務局	SMS、公式LINEを活用した情報発信	○					

	8	低体力会員・高齢会員への対応	⑯	ライフステージに合った仕事の提供	拡大	小規模草取り受注による未就業会員及び仮会員の解消	○
	9	会員継続を促進する制度	⑰	ゴールド会員制度の再考	総務	ゴールド会員懇親会の実施 ゴールド会員規程の制定	○
			⑱	長期在会者への対応	総務	互助会行事への招待実施 表彰規程等の見直し ワークシェアリングの充実	△
就業対策	1	労働条件の要件緩和	⑲	有料職業紹介事業の継続	拡大	ホームページ及び事務所窓口への求人票の掲載	○
	2	就業ニーズへの対応	⑳	労働者派遣事業の拡大	拡大	(R4~R6)商工会議所会報へ仕事募集チラシ折込実施、(R7)1月広報誌「シルバーあんじょう」を全戸配布済み	◎
	3	請負と派遣の区分の明確化	㉑	月10日及び週20時間ルール徹底	安全	説明会時等ガイドラインの周知 会員のしおりHP掲載	○
			㉒	不適正な就業形態の改善	安全	職班会議で就業状況の把握	○
	4	安全就業の推進	㉓	会員の安全意識向上	安全	事故発生時、該当会員を委員会に招集し聴取、再発防止策の検討実施	○
			㉔	事故事例の分析	安全	過去10年の草刈り事故分析を実施(H27-R7)	○
			㉕	多発事故の対応	安全	草刈飛び石事故の撲滅(職員・専門員の現場参加、チップソー許可制等の検討)	△
			㉖	危険な仕事への対応	安全	危険な現場のヒアリング実施(東部保育園のり面の草刈りを辞退)	○
	5	就業機会の確保	㉗	新規契約先の開拓	拡大	「お仕事紹介カード」の活用 新規受注の受入れ	△
			㉘	既存契約の継続	女性	女性会員へのアンケート調査の実施 家事援助班メンバー募集チラシの作成(12名登録済) 家事援助講習会の開催によるスキルアップ	◎
					拡大	各職班での研修計画の作成及び実施	○

			②⑨	就業機会の平準化	拡大	ホームページでの会員のしおり掲載 入会説明会及び面談時の就業基準の周知 済	△
			③⑩	空き家管理事業の充実	総務	空き家所有者へのチラシ送付実施 ふるさと納税を活用した事業の見直し	△
	6	女性会員の拡大	③①	子育て支援事業の充実	女性	子育て世代の家事援助、ハッピー子育て講座時の一時預かり、学習クラブはばたき及び生活困窮世帯子ども学習支援事業によるサポートの実施	△
			③②	女性会員向けの仕事の開拓	女性	長期休暇における安城市児童クラブの清掃業務受託 裁縫班の検討	○
			③③	介護予防事業の推進	女性	あんジョイサポーター養成研修の受講 介護予防日常生活支援における虐待防止委員会の開催	△
	運営基盤の強化	1	総会の活性化	③④	出席者の増加の取り組み	総務	議案書の事前送付実施 会員アンケートの実施 総合ポイント制度の活用
③⑤				イベント内容の工夫	研修	R4 40周年記念式典 和楽器アンサンブル演奏、職域班等展示の実施 R5 自転車等安全講話 R6 ビッグラバースオーケストラ R7 海洋ゴミ楽器集団 ゴミンゾク	◎
2		理事会の活性化	③⑥	審議事項等の事前周知	総務	理事会資料の事前送付実施	◎
			③⑦	理事の発言の活性化	総務	役員へのセンター規程集の配付実施 理事会資料の事前送付実施 議題後のフリートーク枠の活用	○
3		役員主体の取り組み	③⑧	新たな委員会・部会の編成	総務	デジタル推進委員会の設置 職員懲戒等審査委員会の設置	○
			③⑨	円滑な委員会運営	総務	委員会資料の事前送付実施 委員長との事前打ち合わせの実施	○
4		中期計画（行動計画）の推進	④⑩	第4次中期計画（行動計画）の実施及び検証	総務	各委員会においてPDCAサイクルを活用した実施及び検証	○

		④①	中期計画の見直し、次期計画の策定	総務	R7 中期計画推進委員会による第5次中期計画の策定	○
5	会員主体の取り組み	④②	ポスティング等を利用した勧誘活動	広報	他の委員会からの依頼に応じて実施することとしたが、依頼がなかったため未実施。	△
		④③	口コミでの入会勧誘の拡大	総務	「会員紹介カード」、「お仕事紹介カード」活用による総合ポイントの付与	○
				女性	職班会議における「会員紹介カード」の活用 喫茶「カーム」のメニュー表へのQRコードの掲載	◎
6	開かれたセンターづくり	④④	ICTの強化	デジタル（事務局→）	委員会、部会のオープンチャットルームの開設（事務負担が大幅に軽減）	◎
7	社会の変化、センター規模の変化に対応した事務局体制	④⑤	会員規模に沿った事務局の人員体制	事務局	職員の退職及び育児休業に対応した臨時職員の採用	○
		④⑥	会員数に合った土地、建物の確保	事務局	令和4年10月総合福祉センターへの移転実施	○
		④⑦	有効な合同施設の運用	事務局	市との福祉避難所運営協定の締結 安城市福祉まつりにおける合同イベントの開催	○
8	職員、臨時職員の資質向上	④⑧	知識、資格の取得及びセミナー等への参加	事務局	常滑市、刈谷市、犬山市SCへの職員研修の実施 食品衛生責任者資格の取得	○
9	補助金の確保	④⑨	継続的な補助金の確保	事務局	市長、議長要望の継続実施	○
		④⑩	補助金を活用したセンター運営	事務局	R5 デジタル化整備促進事業補助金交付済 R6 フリーランス事業に係る補助金交付済	○

	10	事業の継続的、安定的な運営	51	自主財源の確保	事務局	令和5年10月事務費10%→12%に変更実施	○
			52	事務費及び年会費の確保	事務局	令和5年10月事務費10%→12%に変更実施 令和8年4月事務費12%→10%に変更決定	○
	11	会計処理の適正化	53	複数体制による会計処理	事務局	未経験職員の会計処理業務実施による複数体制の強化	○
			54	定期的な執行状況の報告及びチェック	事務局	理事会においての定期的な執行状況の報告実施	○
	12	収支相償への対応に係る取組み	55	特定費用準備資金の活用	事務局	R4 デジタル推進事業準備資金の積立て実施	○

3 実績データ

(1) 会員数

ア 年度末男女別会員数

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
男性	642人	640人	636人	612人
女性	426人	428人	406人	417人
合計	1,068人	1,068人	1,042人	1,029人
前年度比	2.6%減	±0	2.4%減	1.2%減

会員数は、微減している。

男女比は、男性6割、女性4割程度で推移している。

イ 安城市内人口、60歳以上人口及び粗入会率

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
安城市	188,645人	188,010人	187,500人	187,252人
60歳以上	51,012人	51,770人	52,564人	53,331人
粗入会率	2.09%	2.06%	1.98%	1.93%

60歳以上の人口が増加していることに加え、会員数の減少により、粗入会率は低下している。

ウ 会員の入退会状況

		令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
入会	男性	78人	60人	78人	75人
	女性	47人	46人	56人	68人
退会	男性	93人	62人	82人	99人
	女性	60人	44人	78人	57人
増減	男性	△15人	△2人	△4人	△24人
	女性	△13人	2人	△22人	11人

毎年退会者が入会者を上回っている状況にある。男性会員及び女性会員の数は微減している。

エ 年代別会員数

	令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
60～64歳	24人	2.2%	27人	2.5%	30人	2.9%	32人	3.1%
65～69歳	178人	16.7%	157人	14.7%	127人	12.2%	115人	11.2%
70～74歳	344人	32.2%	320人	30.0%	306人	29.4%	297人	28.9%
75～79歳	357人	33.4%	378人	35.4%	384人	36.9%	382人	37.1%
80歳～	165人	15.4%	186人	17.4%	195人	18.7%	203人	19.7%
計	1,068人	100%	1,068人	100%	1,042人	100%	1,029人	100%

令和7年度には団塊の世代が75歳以上となり、75歳以上の会員の年齢構成比率が上がっており、就業者の主力となりつつある。

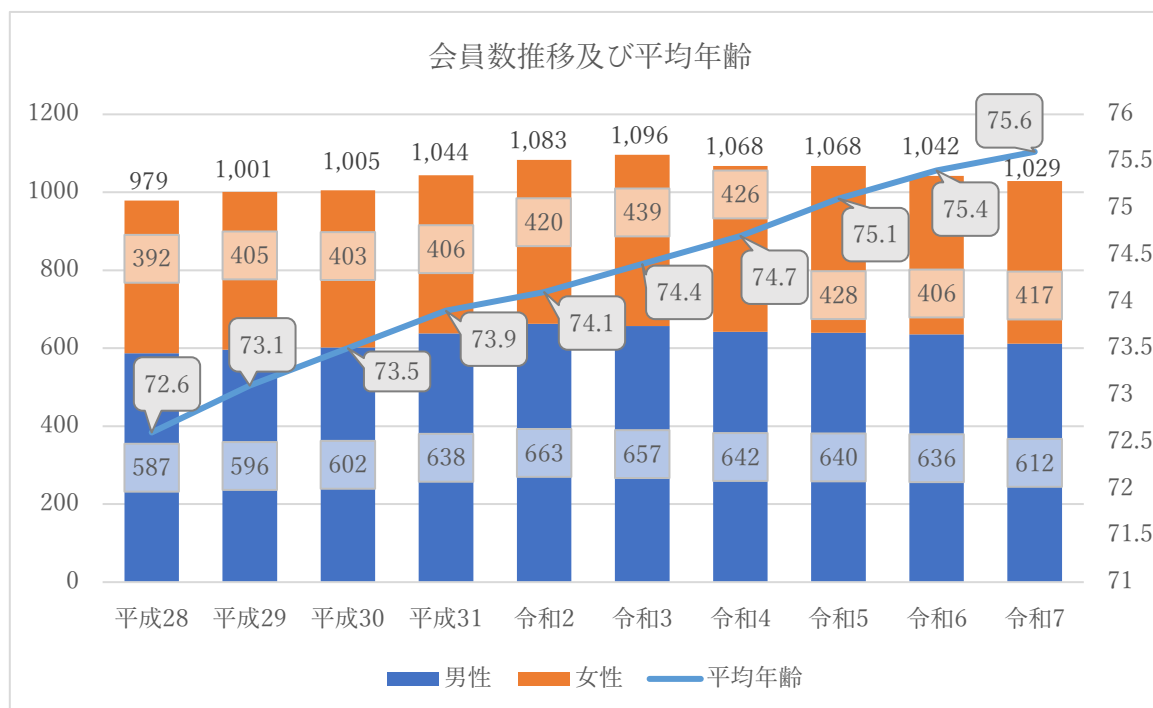
また、80歳以上でも継続して就業する傾向があり、健康寿命の延びや社会参加意欲の高まりがうかがえる。

オ 仮会員の状況

センターに入会の申出をしたものの、就業先が決まっていない方を仮会員と扱っている。この仮会員の令和8年3月31日現在の状況は次のとおりである。

60～64歳の仮会員数	24人
65～69歳の仮会員数	25人
全仮会員数	93人
全仮会員数に対する60歳代の仮会員数の割合	52.7%

カ センターの会員数及び平均年齢の推移



(2) 契約金額

ア 契約相手別契約金額 (千円)

		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
請負	公共	193,209	35.6%	198,223	36.1%	208,456	36.2%	211,611	35.4%
	民間	229,384	42.2%	233,464	42.5%	247,782	43.0%	258,411	43.3%
	小計	422,593	77.8%	431,687	78.6%	456,238	79.2%	470,022	78.7%
派遣	公共	49,344	9.1%	49,667	9.0%	55,212	9.6%	57,559	9.6%
	民間	71,434	13.1%	67,655	12.3%	64,862	11.3%	69,636	11.7%
	小計	120,778	22.2%	117,322	21.4%	120,074	20.8%	127,204	21.3%
合計		543,371	100%	549,009	100%	576,312	100%	597,226	100%

請負契約は公共、民間共に増加している。派遣契約は公共が増加しているのに対し、民間の減少傾向が顕著であることから全体としても微減の状況である。

イ 受注件数 (件)

		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
公	共	660	17.8%	678	18.5%	674	17.8%	716	18.4%
民	間	401	10.8%	406	11.1%	433	11.5%	491	12.6%
個	人	2,638	71.3%	2,580	70.4%	2,672	70.7%	2,679	68.9%
合計		3,699	100%	3,664	100%	3,779	100%	3,886	100%

※請負事業、派遣事業を合算した数値

全体の件数としては、令和5年度で微減するが、その後は回復し、前年度を上回る件数となっている。

公共及び民間の件数は増加傾向にある。

個人についても令和5年度で微減しているが、その後は増加傾向にある。

(3) 就業率

ア 就業率 (%)

	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
就業率	98.5	98.7	100	100

※請負事業、派遣事業を合算した数値

毎年度高い就業率を維持しており、令和6年度及び令和7年度は100%を達成した。今後もこの状態を継続して維持していく必要がある。

イ 就業延人員（人日）

		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
就業 延 人員	請負	119,437	85.8%	119,192	86.5%	121,345	87.2%	121,380	87.0%
	派遣	19,792	14.2%	18,665	13.5%	17,850	12.8%	18,109	13.0%
	合計	139,229	100%	137,857	100%	139,195	100%	139,489	100%

合計就業延人員はほぼ横ばいで推移している。請負事業は微増であるが、派遣事業については契約金額と共に年々減少しているが、令和7年度は回復傾向が見られた。

(4) 決算の状況

(単位：千円)

科 目		令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
収益	受託事業収益	424,655	434,313	458,959	472,463
	労働者派遣事業等 受託収益	15,689	15,242	15,697	16,479
	有料職業紹介事業 受託収益	64	148	50	86
	介護予防日常生活支援 総合事業収益	2,108	1,544	1,448	1,221
	受取会費	2,195	2,213	2,268	2,209
	受取補助金等	27,729	37,529	40,000	40,000
	その他	36	32	103	116
	経常収益計	472,476	491,021	518,525	532,574
費用	事業費	476,156	480,861	507,717	525,338
	管理費	7,927	8,527	8,482	8,516
	経常費用計	484,083	489,388	516,198	533,855
	経常外費用計	13	393	0	8
一般正味財産増減額		△11,620	1,633	2,327	△1,289
一般正味財産		53,474	54,714	57,041	55,752

第3章 施策体系

目指す姿（センター像）

笑顔でつながる、地域とつむぐ。

～安城の未来を支える、シルバーの力～



施策の柱	項目
1 会員の拡大	①入会の促進
	②退会抑制の取り組み
	③会員の活躍推進
2 就業機会の拡大	①既存契約先への新たな業務の受注開拓
3 安全就業の推進	①苦情及び多発事故の抑止
	②高リスク作業への対策
4 運営基盤の強化	①委員会等の活性化
	②情報発信力の強化による認知度向上
	③センター組織基盤の強化

第4章 施策内容

第1節 目標値の設定

1 会員数

会員数（人）	第4次	第5次中期計画					
	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)
目標値 (センター策定値)	1,200	1,063	1,097	1,132	1,167	1,203	1,227
実績	1,029						
達成率	85.8%						
60歳代会員割合 (補完目標値)	14.3%	15.1%	16.0%	16.9%	17.9%	18.9%	20%
60歳代会員割合実績	14.3%						
参考目標値 (県シ連策定値)	1,089	1,111	1,133	1,156	1,179	1,203	
前年比目標純増数		22	22	23	23	24	
純増数累計		43	65	88	111	135	

全シ協は、全国のシルバー人材センターで、会員数を現在より10万人以上純増させることを目指す計画を策定し、愛知県にも令和7年度から令和12年度までの間で純増5,257人という目標が示された。

これを受け、愛知県では、前述の5,257人を基本として、各センターにおける独自の計画数などを加味した5,308人を目標数として設定した。

これを基に愛知県が各センターの各年度目標数を設定したのが参考目標値(県シ連策定値)である。当センターでは、令和12年度の参考目標値(県シ連策定値)を目標値(センター策定値)とし、これを基に令和13年度までの目標値を設定する。

第5次中期計画では、会員数の増加だけでなく、60歳代の会員数の増加も補完目標値として取り入れる。会員の年齢別構成比では65歳から69歳までの会員数及び割合が、令和4年度末では178人の16.7%から令和7年度末には115人の11.2%まで落ち込んでいる。会員数の増加も必要であるが、60歳代の会員を重点的に確保し、発注者の費用対効果の実感が得られやすいセンターを目指し、全会員に占める割合を20%とすることを補完目標値として設定する。

2 契約金額

契約金額 (千円)		第3次	第4次中期計画			
		令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
目標値	請負	445,346	407,584	411,384	415,183	419,335
	派遣	101,089	116,669	120,299	123,926	127,861
	合計	546,435	524,253	531,683	539,109	547,196
実績	請負	404,468	422,593	431,687	456,238	470,022
	派遣	115,430	120,778	117,322	120,074	127,204
	合計	519,898	543,371	549,009	576,312	597,226
達成率		95.1%	103.6%	103.3%	106.9%	109.1%
最低賃金(円)		955	986	1,027	1,077	1,140

契約金額 (千円)		第5次中期計画					
		令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)
目標値	請負	479,309	497,666	516,727	536,518	556,066	578,402
	派遣	130,321	133,514	136,785	140,136	143,569	147,087
	合計	609,630	631,180	653,512	676,654	699,635	725,489
実績	請負						
	派遣						
	合計						
達成率							
最低賃金(円)							

第5次中期計画では、令和3年度から令和7年度までの実績から算出した年平均成長率を基に、令和8年度以降6年間の契約金額を推計した。請負は年平均3.83%、派遣は年平均2.45%の成長率を適用し、令和7年度の実績値(請負461,629千円、派遣127,204千円)を基準として目標値を算出している。

なお、請負業務については、令和7年度までは手数料率12%で算出された470,022千円を基礎としているが、令和8年度以降は手数料率10%へ移行するため、整合性を保つため、手数料率10%換算後の461,629千円を基準額として用いた。この結果、令和13年度には請負578,402千円、派遣147,087千円となり、合計は725,489千円に達する見込みである。

第2節 目標値を達成するための施策の柱

1 会員の拡大

目標：会員数純増 198人 の達成

【現状と課題】

安城市の会員数は令和7年度 1,029 人であるが、令和 13 年度には 1,227 人への拡大を目指している。高年齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正により、60代の「若手」層の入会が鈍化する一方、会員の平均年齢は上昇しており、活動の担い手不足が懸念されている。また、入会の申込みをしても就業に至らない「仮会員」の解消も喫緊の課題である。

【今後の取り組み】

戦略的な入会促進と広報：ウェブ入会システムの活用や情報発信力を強化し、現役引退直後の層へアプローチする。「体験型入会説明会」により、入会後のミスマッチを防ぐ。

退会抑制と居場所づくり：健康講座やクラブ活動、交流会を充実させ、「仕事以外でも行きたくなるセンター」を目指す。

女性会員の活躍推進：屋内軽作業や子育て支援など、女性が就業しやすい職種を積極的に提示し、女性会員数の増加を図る。

(1) 入会の促進

施策	主な取り組み	区分	実施期間	
			R8～ R10	R11 ～ R13
1 センターが魅力的な団体になる	ホームページにて活気あるセンターの雰囲気を発信	拡充	◎	
2 就きたい就業先を提供する	就業基準の運用による就業機会の提供	継続		○
	入会希望者の経験、強みを把握した就業機会の提供	継続	○	○
3 センターの理解を深める	講習会、研修会における一般市民の参加者の取り込み	拡充		◎
4 事務所以外の場所で入会説明が受けられる	体験型入会説明会の推進	継続		○
	ウェブ入会の周知による申込数の増加	拡充	◎	
5 初期投資が必要な職種にも就業しやすくする	社会環境の変化に対応した貸出制度の整備	拡充	○	○

(2) 退会抑制の取り組み

施策	主な取り組み	区分	実施期間	
			R8～ R10	R11～ R13
6	会員であることの満足度を上げる	健康講座等の開催	継続	○
		会員表彰制度の拡充	拡充	◎
7	未就業者等への就業サポートを強化する	就業相談日の設置	新規	○
		就業レポートの送信等の実施	新規	◎
8	会員の年齢及び体力に応じた就業ができるようにする	ワークシェアリングの実施による無理のない就業体制の構築	継続	○
		会員の就業状況の聞き取りによる適材適所の配置	継続	○

(3) 会員の活躍推進

施策	主な取り組み	区分	実施期間	
			R8～ R10	R11～ R13
9	女性活躍推進委員会に関わるのが、楽しいと感じるようにする	男性女性を問わず、主体的な楽しい機会を創出	新規	○
10	会員が交流したり、情報交換したりする機会を作る	同好会活性化による会員の生きがいづくり	拡充	○
		単独で就業する会員の交流機会の提供	拡充	◎

2 就業機会の拡大

目標：令和13年度契約金額 725,489千円（年3.3%増）の達成

【現状と課題】

除草、剪定、清掃等の屋外作業は、市民の高齢化に伴い、市民が自ら作業を行えなくなっている状況がある。

また、地域性や職種によって会員が不足する状況があるため、特定の会員に負担が偏るのではなく、多くの会員が安心して体力や希望に応じて働ける仕組みづくりが必要である。

さらには、既存契約先企業等における、人手不足などの困りごとの状況を把握していないため、会員でもできる就業機会を逃している可能性があるため、会員による営業活動を活性化させる必要がある。

【今後の取り組み】

新規業務の開拓：SNSの活用によるセンターの認知度向上や、「お仕事紹介カード」を活用して新規開拓を行い、多様な就業機会を創出する。

ワークシェアリングの徹底：一人の負担を減らし、複数名で交代して働く仕組みを導入する。これにより、高齢になっても体力的に不安なく働き続けられる環境を整える。

社会情勢にスライドした単価設定：前年度実績に最低賃金上昇率を乗じた額を目標とし、契約金額を維持・向上させる。

（1）既存の契約先への新たな業務の受注開拓

施策	主な取り組み	区分	実施期間	
			R8～ R10	R11～ R13
11 契約先の人手不足分野に対応する	仕事一覧の作成及び効果的な配布	拡充	◎	◎
	営業活動の活性化	拡充	◎	◎
12 地域の困りごとを把握し、対応する	会員への「お仕事紹介カード」の活用を浸透	拡充	○	○

3 安全就業の推進

目標：「令和8年度～13年度重篤事故及び賠償事故件数ゼロ」

【現状と課題】

安城市では第4次中期計画の期間中に、重篤事故は発生していないが、就業途上の事故や飛び石による賠償責任事故の根絶は依然として課題である。特に高齢化に伴う身体機能の変化や、近年の酷暑による熱中症リスクへの対応が急務となっている。

【主な取り組み】

自己管理と意識の向上：「自分の体力を正しく把握する」ための健康チェックや安全講習会を開催する。無理な作業を控える「安全な働き方」の啓発を行う。

安全な就業環境の整備：複数体制での就業を基本とし、熱中症対策グッズや安全器具の貸与を充実させる。また、高リスク作業（高所・酷暑等）の対策を確立していく。

(1) 苦情及び多発事故の抑止

	施策	主な取り組み	区分	実施期間	
				R8～R10	R11～R13
13	会員のスキルを向上させる	講習会の開催	継続	○	○
14	会員が安全に就業できるようにする	就業基準等を徹底するための研修会の開催	継続	○	
		交通安全講習会の開催	継続	○	○

(2) 高リスク作業への対策

	政策	主な取り組み	区分	実施期間	
				R8～R10	R11～R13
15	熱中症対策等への安全対策を推進し、会員がけが等をしないようにする	熱中症対策グッズ等の貸与	継続	○	○
		熱中症情報の提供	拡充	○	
16	高リスク作業に従事する会員は自己の健康状態を把握する	健康診断等による自己の健康管理	新規	◎	○

4 運営基盤の強化

シルバー人材センターの運営基盤は、ガバナンス基盤、社会的基盤、事業運営基盤の3層で構成される。

当センターでは、委員会の活性化、情報発信力の強化、組織基盤の強化を重点課題として位置づけ、これらの基盤を総合的に強化することで、持続可能なセンター運営を実現する。

【現状と課題】

高齢者等の雇用の安定に関する法律の改正や、最低賃金の上昇、契約方法の変更など、センターを取り巻く環境は激変している。

このような状況で、法人を運営していくにあたり、各委員会において、実施項目が多岐にわたり、施策を十分に実施できていない状況も見受けられた。しっかりと重点目標を掲げ、計画的かつ主体的に活動を進める体制の構築が課題である。

また、当センター会員の8割以上がスマートフォンを所持し、会員の約半数がITツール（メール・LINE）を活用している実態がある。広報手段を従来型の紙媒体中心から、ITツールを活用した情報伝達の充実が課題である。

現在、事務局事務所と作業所事務所が分離しているため、会員と職員のコミュニケーションが限定的で、業務の遂行において一体感が醸成されにくい状況にある。

第5次中期計画の期間中に、センター設立50周年を迎えるにあたり、センターのブランド力の向上が求められている。

【今後の取り組み】

(1) ガバナンス基盤：委員会等の活性化

各委員会が年度ごとに重点目標を掲げ、計画的かつ主体的に活動を進める体制を構築する必要がある。さらに、委員会が理事会との連携を強化することで、実効性のあるガバナンスを確立することが求められる。

(2) 社会的基盤：情報発信力の強化による認知度向上

デジタル通信技術を活用した情報発信を強化し、センターの魅力や会員の活躍を積極的に伝える仕組みを整える必要がある。

センターの情報を市民に伝えるため、市民との接点を増やす取り組みを推進することが求められる。

センターのイメージ向上を図り、地域からの信頼と認知度を高める広報戦略を構築することが重要となる。

(3) 事業運営基盤：センター組織基盤の強化

業務マニュアル等を整備し、職員が業務を着実に引き継ぎ、安心して会員が就業できるような体制を構築する必要がある。

事務所を一体化し、会員・職員の相互理解を深め、組織の一体感を高める環境を整えることが求められる。

(1) 委員会等の活性化

施策	主な取り組み	区分	実施期間		
			R8～ R10	R11～ R13	
17	年度ごとに各委員会において重点目標を掲げて活動する	各委員会による自主的な活動の推進	継続	○	○

(2) 情報発信力の強化による認知度向上

施策	主な取り組み	区分	実施期間		
			R8～ R10	R11～ R13	
18	情報の発信を強化する	情報通信技術の活用	拡充	○	
19	センターのイメージをアップし、市民の認知度をあげる	市内各種イベント等への参加	新規		○
		年2回発行のシルバーあんじょうを安城市の広報紙に折込	拡充	○	○

(3) センター組織基盤の強化

施策	主な取り組み	区分	実施期間		
			R8～ R10	R11～ R13	
20	職員が業務を着実に引継ぎ、的確に実施する	マニュアル等の整備	拡充	○	
21	会員、職員の相互理解を深め、センターの一体感を醸成する	事務局事務所と作業所事務所を一体化	新規	◎	
22	センター設立50周年に向けて準備する	センターのシンボルマークの決定	新規		◎

第5章 推進体制

1 第5次中期計画に伴う組織の改編

第5次中期計画を着実かつ効率的に実行するために、組織の再編成を行います。

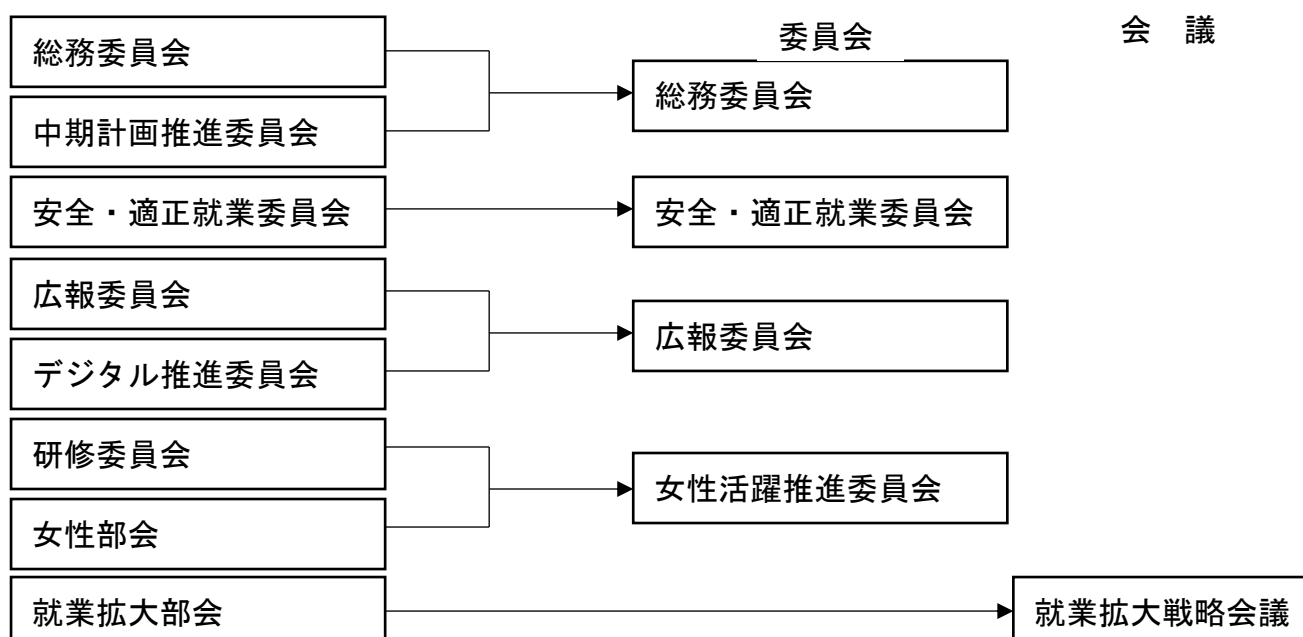
これまで、理事会の下に、理事及び委員からなる6つの委員会及び2つの部会を設置していましたが、令和8年度の総会から、4つの委員会と1つの会議体に再編成します。

「総務委員会」に、「中期計画推進委員会」を統合します。新たな「総務委員会」は、センター代表理事である副会長を委員長とし、他の委員会の委員長を構成員とすることで、各委員会活動を統括するとともに、中期計画の進捗状況を把握しながら、諸課題に迅速に対応できる組織とします。

「女性部会」に「研修委員会」を統合し、「女性活躍推進委員会」と名称を改めます。「女性活躍推進委員会」は、センターの会員に占める女性会員の比率は平成28年度の38.7%から令和7年度の40.2%まで、全国シルバー人材センター事業協会の統計資料における女性会員の伸び率と比較して低い状況にあります。研修会参加への女性委員からの呼びかけやイベントの運営などこれまで地域行事で培った経験を取り込み、女性会員の増加に繋がる種まきを担います。

「広報委員会」に、「デジタル推進委員会」を統合します。これまでの広報委員会は、紙媒体を中心としたPR活動をしていましたが、デジタル推進委員会のデジタル化に精通した会員を委員に加えることで、情報通信技術を最大限に利用したPR活動も同時に行えるようにします。

「就業拡大部会」は、理事会の下部組織から切り離し、「就業拡大戦略会議」として事務局内部の会議体とします。「就業拡大戦略会議」は、現役時代に営業経験を持ち専門員として事務局臨時職員として勤務する会員を中心に構成し、臨時職員の会員ならではの営業を展開できるようにします。



2 第5次中期計画を着実に推進するために、各委員会等の役割分担を次のように定める。

【総務委員会】

施策の柱	施策		主な取り組み	区分	実施期間	
					R8～ R10	R11～ R13
会員の 拡大	④	事務所以外の場所で入会の説明が受けられる	体験型入会説明会の推進	継続		○
	⑥	会員であることの満足度を上げる	会員表彰制度の拡充	拡充		◎
就業機会 の拡大	⑪	契約先の人手不足分野に対応する	仕事一覧の作成及び効果的な配布	拡充	◎	◎
運営基盤 の強化	⑰	年度ごとに各委員会において重点目標を掲げて活動する	各委員会による自主的な活動の推進	継続	○	○
	⑳	センター設立50周年に向けて準備する	センターのシンボルマークの決定	新規		◎

【安全・適正就業委員会】

施策の柱	施策		主な取り組み	区分	実施期間	
					R8～ R10	R11～ R13
会員の 拡大	②	就きたい就業先を提供する	就業基準の運用による就業機会の提供	継続		○
	⑤	初期投資が必要な職種にも就業しやすくする	社会環境の変化に対応した貸出制度の整備	拡充	○	○
	⑧	会員の年齢及び体力に応じた就業ができるようにする	ワークシェアリングの実施による無理のない就業体制の構築	継続		○
安全就業 の推進	⑭	会員が安全に就業できるようにする	就業基準等を徹底するための研修会の開催	継続	○	
			交通安全講習会の開催	継続	○	○

	⑮	熱中症対策等への安全対策を推進し、会員がけが等をしてないようにする	熱中症対策グッズ等の貸与	継続	○	○
			熱中症情報の提供	拡充	○	
	⑯	高リスク作業に従事する会員の健康状態を把握する	健康診断等による自己の健康管理	新規	◎	○
運営基盤の強化	⑰	年度ごとに各委員会において重点目標を掲げて活動する	各委員会による自主的な活動の推進	継続	○	○

【広報委員会】

施策の柱	施策	主な取り組み	区分	実施期間		
				R8~ R10	R11~ R13	
会員の拡大	①	センターが魅力的な団体になる	ホームページにて活気あるセンターの雰囲気を発信	拡充	◎	
	④	事務所以外の場所で入会の説明が受けられる	ウェブ入会の周知による申込数の増加	拡充	◎	
運営基盤の強化	⑰	年度ごとに各委員会において重点目標を掲げて活動する。	各委員会による自主的な活動の推進	継続	○	○
	⑱	情報の発信を強化する	情報通信技術の活用	拡充	○	
	⑲	センターのイメージをアップし、市民の認知度をあげる。	年2回発行のシルバーあんじょうを安城市の広報紙に折込	拡充	○	○

【女性活躍推進委員会】

施策の柱	施策		主な取り組み	区分	実施期間	
					R8～ R10	R11～ R13
会員の 拡大	③	センターの理解を深める	講習会、研修会における一般市民の参加者の取り込み	拡充		◎
	⑥	会員であることの満足度を上げる	健康講座等の開催	継続	○	○
	⑨	女性活躍推進委員会に関わることが、楽しいと感じるようにする	男性女性を問わず、主体的な楽しい機会を創出	新規	○	
運営基盤 の強化	⑰	年度ごとに各委員会において重点目標を掲げて活動する。	各委員会による自主的な活動の推進	継続	○	○
	⑱	センターのイメージをアップし、市民の認知度をあげる	市内各種イベント等への参加	新規		○

【事務局】

施策の柱	施策	主な取り組み	区分	実施期間		
				R8~ R10	R11~ R13	
会員の 拡大	②	就きたい就業先を提供する	入会希望者の経験、強みを把握した就業機会の提供	継続	○	○
	④	事務所以外の場所で入会の説明が受けられる	体験型入会説明会の推進	継続		○
	⑦	未就業者等への就業サポートを強化する	就業相談日の設置	新規		○
			就業レポートの送信等の実施	新規	◎	
	⑧	会員の年齢及び体力に応じた就業ができるようにする	会員の就業状況の聞き取りによる適材適所の配置	継続	○	○
	⑩	会員が交流したり、情報交換したりする機会をつくる	同好会活性化による会員の生きがいづくり	拡充		○
単独で就業する会員の交流機会の提供			新規	◎	○	
安全就業 の推進	⑬	会員のスキルを向上させる	講習会の開催	継続	○	○
運営基盤 の強化	⑳	職員が業務を着実に引継ぎ、的確に実施する	マニュアル等の整備	拡充	○	
	㉑	会員、職員の相互理解を深め、センターの一体感を醸成する	事務局事務所と作業所事務所を一体化	新規	◎	
就業機会 の拡大 (就業拡大 戦略会議)	⑪	契約先の人手不足分野に対応する	仕事一覧の作成及び効果的な配布	拡充	◎	◎
			営業活動の活性化	拡充	◎	◎
	⑫	地域の困りごとを把握し、対応する	会員への「お仕事紹介カード」の活用を浸透	拡充	○	○

第6章 会員の行動項目（私たち会員ができること）

安城市シルバー人材センターは、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員一人ひとりが主役となって運営する組織です。

第5次中期計画が掲げるスローガン「笑顔でつながる、地域とつむぐ。～安城の未来を支える、シルバーの力～」を実現するため、私たちは以下の行動を大切にします。

会員に関すること	<ul style="list-style-type: none">●友人や家族に活動の魅力を伝え、入会のきっかけを作ります。●「会員紹介カード」やウェブでの面談予約、入会案内を周囲に勧め、入会者を増やします。●地域社会の一員として、笑顔でいきいきと活動します。
就業に関すること	<ul style="list-style-type: none">●「お仕事紹介カード」を活用し、地域の困りごとをセンターに繋がります。
安全就業に関すること	<ul style="list-style-type: none">●自分の体力の把握に努め、「できること」を正しく伝えて、年齢に応じた「安全な働き方」を選びます。●安全・適正就業基準や交通ルールを遵守します。●健康診断を年1回は受けるようにしましょう。
センターに関すること	<ul style="list-style-type: none">●総会や行事に積極的に参加し、運営に会員の声を反映させます。●スマホやLINEを活用し、迅速で効率的な情報共有に協力します。●互助会活動やボランティア活動に積極的に参加します。

第7章 関係資料

1 公益社団法人安城市シルバー人材センター中期計画推進委員会設置要領

(目的)

第1条 センターの事業活動について、中期的に見据え、各分野について課題や目標を明らかにし、達成の方策として「中期計画」を定めるとともに、会員拡大と事業推進を図り、策定された「中期計画」を計画的に推進し、設定された事業の進捗管理を行うため、公益社団法人安城市シルバー人材センター中期計画推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 中期計画のスケジュール及び進捗管理に関すること。
- (2) 事業に係る現状の把握、課題の整理及び目標に関すること。
- (3) 現行事業の分析や評価方法及び目標達成のための対策に関すること。
- (4) 会員への周知に関すること。
- (5) その他中期計画策定及び推進に必要な事務事業に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員10名以内で組織する。

- 2 委員は、理事の中から、会長が任命する。
- 3 会長は、必要と認めるときは、理事以外の会員及び学識経験者を委員とすることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長1名を置き、委員のうちから互選する。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長が指名、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

- 2 委員会の議長は、委員長が当たる。

(委任)

第7条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は会長が定める。

附 則

この要領は、令和3年12月1日から施行する。

2 第5次中期計画推進委員会 委員名簿

(任期：令和6年6月25日～令和8年6月定時総会)

役 職 名	氏 名	備 考
副 会 長	榊 原 秀 夫	総務委員長
理 事	横 山 泰 広	研修委員長
理 事	西 村 幸 子	広報委員長
理 事	中 野 美 枝 子	安全・適正就業委員長
理 事	沓 名 博 子	女性部会長
理 事	林 幸 夫	就業拡大部会長
理 事	都 築 美 千 代	デジタル推進委員長
理 事	加 藤 哲	安全・適正就業委員
常 務 理 事	小 笠 原 浩 一	事務局長
事 務 局	中 村 憲 和	係長

3 中期計画推進委員会開催経過

期 日	内 容
第1回中期計画推進委員会 令和7年4月18日（金）	1 第5次中期計画アンケートについて 2 会員の入退会資料について
第2回中期計画推進委員会 令和7年7月4日（金）	1 第4次中期計画進捗状況について 2 第5次中期計画アンケート結果について 3 第5次中期計画について
第3回中期計画推進委員会 令和7年10月3日（金）	1 第4次中期計画上半期の状況について 2 第5次中期計画の項目について
第4回中期計画推進委員会 令和8年1月16日（金）	1 第5次中期計画について
第5回中期計画推進委員会 令和8年2月13日（金）	1 第5次中期計画について
第6回中期計画推進委員会 令和8年3月6日（金）	1 第4次中期計画下半期の状況について 2 第5次中期計画について
令和8年度 第1回中期計画推進委員会 令和8年4月17日（金）	1 第5次中期計画（概要版）について 2 第5次中期計画について
令和8年度 第1回理事会 令和8年5月20日（水）	1 第5次中期計画策定について（承認）

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、シルバー人材センターでの就業において、会員が希望する内容や条件を聴取することで、就業拡大等に役立てることを目的としています。

(2) 調査の設計

調査対象	安城市シルバー人材センターの会員 ※会費未納の者を除く
対象者数	1,086人
抽出方法	全数調査
調査方法	郵送配布、窓口で回収
調査期間	令和7年5月から令和7年6月

(3) 回収結果

配布数	1,086人
回収数	801人
回収率	73.7%

(4) 報告書の見かた

比率はすべて%で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため比率の合計が100.0%にならないことがあります。

安城市シルバー人材センター 会員向けアンケート

【目的】 当センターでは今年度中に第5次中期計画(令和8年度～令和13年度)を策定します。
この計画の目標は、会員数の増加及び契約金額の拡大です。
計画策定にあたり、このアンケートにより会員の皆さんの現状を把握し、満足度の向上を
図ると共にセンターのサービス向上を図り、この結果を事業の発展に役立てていきます。

【提出期限】 定時総会出席票と合わせて、令和7年6月13日(金)までにご提出ください。

【回答基準日】 令和7年6月1日(日)現在

＜以下質問に対して、該当する番号を番号記入欄にご記入ください。また、「その他」の選択肢を選んだ
場合には、番号記入欄にその他の番号を記入するとともに()内にその理由を記入してください。＞

質問1 あなたの性別を教えてください。

- (1) 男 (2) 女

番号記入欄

質問2 あなたの年齢を教えてください。

- (1) 60～64歳 (2) 65～69歳 (3) 70～74歳
(4) 75～79歳 (5) 80歳以上

番号記入欄

質問3 シルバーに入会して何年目ですか。

- (1) 1年未満 (2) 1～3年 (3) 4～6年
(4) 7～9年 (5) 10年以上

番号記入欄

質問4 就業基準では、原則「同一職種、同一就業場所における就業は5年以内とする」
ということを知っていますか。

- (1) はい (2) いいえ

番号記入欄

質問5 あなたの主な職班を下記の表から1つだけ選択してください。

番号記入欄

(1)剪定	(2)草刈り	(3)草取り	(4)営繕
(5)清掃(民間)	(6)清掃(公共)	(7)施設管理(民間)	(8)施設管理(公共)
(9)家事援助 クリーン	(10)その他	(11)派遣(民間)	(12)派遣(公共)

※JR安城駅駐輪場管理は(7)施設管理(民間)に、給食センターは(11)派遣(民間)に該当します。

質問5-2 仕事の満足度を下記から1つだけ選択してください。

- (1)満足 (2)やや満足
(3)やや不満 (4)不満

番号記入欄

質問5-3 質問5-2でやや不満及び不満と答えた方のみ、大きな理由を1つだけ選択してください。

- (1)仕事が多い (2)対価(配分金、賃金)が安い (3)仕事が少ない
(4)仕事先で嫌な思いをした (5)人間関係がうまくいかない
(6)就業先が遠い
(7)その他()

番号記入欄

質問6 新しい仕事を選ぶにあたって、最も重要視する条件を下記から1つだけ選択してください。

- (1)就業時間 (2)自宅からの距離
(3)配分金(賃金) (4)仕事の内容(やりがい)
(5)仕事の内容(体力面)
(6)働き方(具体例:)

番号記入欄

質問7 希望する1週間あたりの就業日数を下記から1つだけ選択してください。

- (1)1日未満(月2回、年数回など) (2)1~2日
(3)3~4日 (4)5日以上

番号記入欄

質問8 希望する1日あたりの就業時間を下記から1つだけ選択してください。

- (1)1時間以内 (2)2~3時間
(3)4~5時間 (4)6時間以上

番号記入欄

質問9 希望する1月あたりの配分金(賃金)を下記から1つだけ選択してください。

- (1)3万円以内 (2)3~5万円 (3)5~7万円
(4)7~10万円 (5)10万円以上

番号記入欄

質問10 企業や官公庁の定年延長及び再雇用の促進により、入会者の高年齢化や新入会員の減少が懸念されています。

入会促進の方策として効果的であると思うものをすべて選択してください。

- (1)会員による勧誘(会員紹介カード) (2)出張説明会
(3)女性向け入会説明会
(4)イベントやボランティア活動を通じたシルバークの周知
(5)広報活動の充実 (6)就業先の拡大
(7)入会申込者の就業先選択の意識改革
(事務仕事は少ない、楽な仕事はないなど)
(8)研修を伴う説明会
(9)その他()

番号記入欄

質問15 職員やリーダーの就業連絡などは適切でしたか。

- (1)満足 (2)やや満足
- (3)やや不満 (4)不満

番号記入欄

--

質問15-2 質問15で(3)やや不満及び(4)不満と答えた方のみ、大きな理由を1つだけ選択してください。

- (1)仕事の指示が曖昧・わかりにくい
- (2)話を聞いてくれない・意見を受け入れない
- (3)連絡や情報共有が不十分
- (4)現場の雰囲気が悪くしている
- (5)公平性・公正さに欠ける指導をする
- (6)改善提案や意見を無視する
- (7)自分の考えを押し付ける
- (8)時間管理がいい加減(集合・解散が不明確など)
- (9)その他()

番号記入欄

--

質問16 以下のソーシャルメディアで利用しているものをすべて選択してください。

- (1) メール
- (2) LINE(ライン)
- (3) X(エックス)(旧Twitter)
- (4) Instagram(インスタグラム)
- (5) YouTube(ユーチューブ)
- (6) Facebook(フェイスブック)

番号記入欄

質問17 あなたは、シルバー人材センターに登録し、働いていることを周りの人に公言していますか。

また、その理由を1つだけ選択してください。

※公言している場合の選択肢

- (1)社会参加していることへの誇り
- (2)健康や元気のアピール
- (3)仲間を誘いたい・紹介したい
- (4)家族や友人に予定を共有したり、この日は仕事があると伝えるため
- (5)その他()

※公言していない場合の選択肢

- (6)収入や生活状況を詮索されたくない
- (7)仕事の内容を知られたくない
- (8)プライベートと仕事を分けたいので、近所や知人に知られたくない
- (9)他人の反応が面倒で干渉されたくない
- (10)その他()

番号記入欄

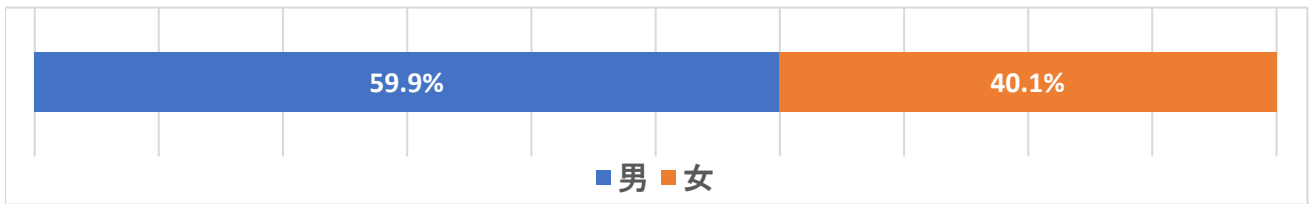
--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

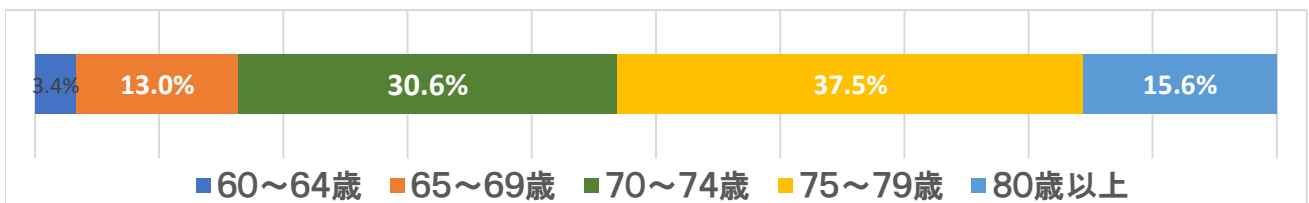


② 調査結果

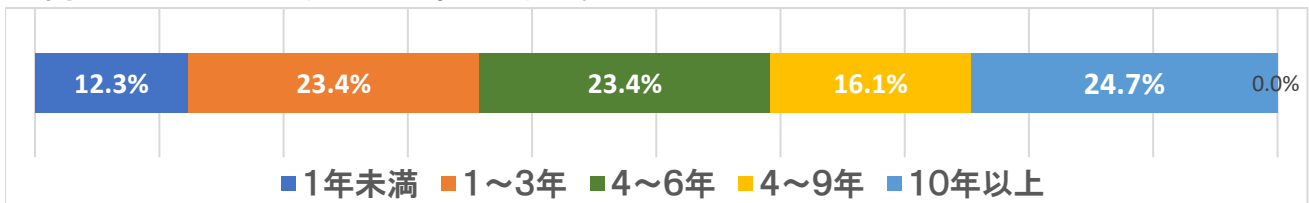
質問1 あなたの性別を教えてください。



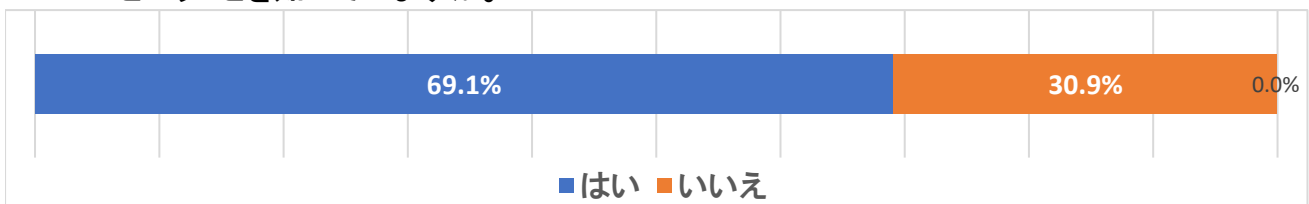
質問2 あなたの年齢を教えてください。



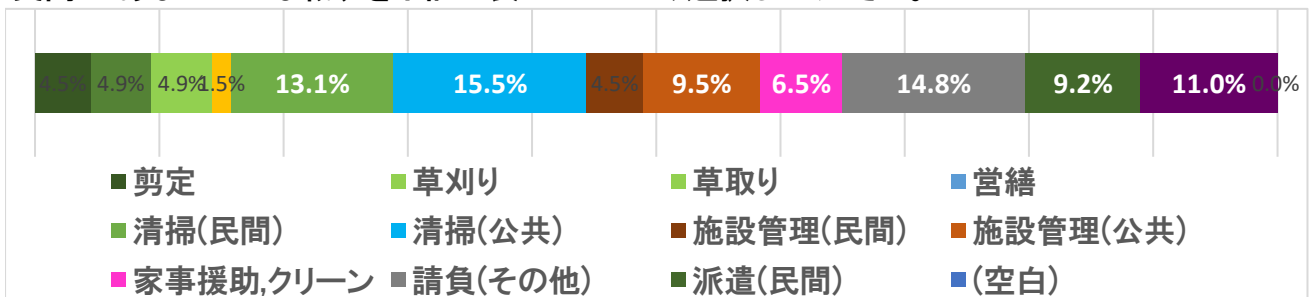
質問3 シルバーに入会して何年目ですか。



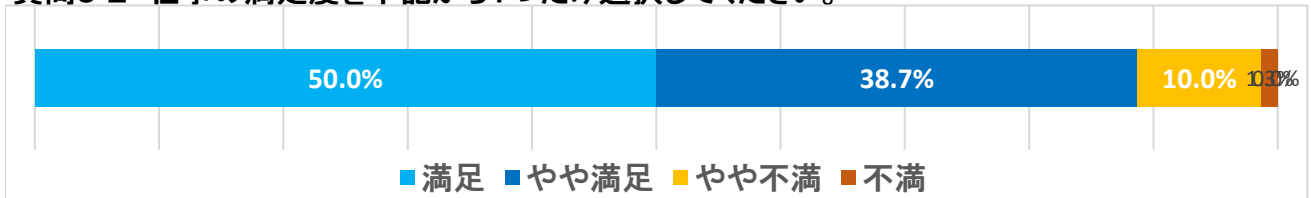
質問4 就業基準では、原則「同一職種、同一就業場所における就業は5年以内とする」ということを知っていますか。



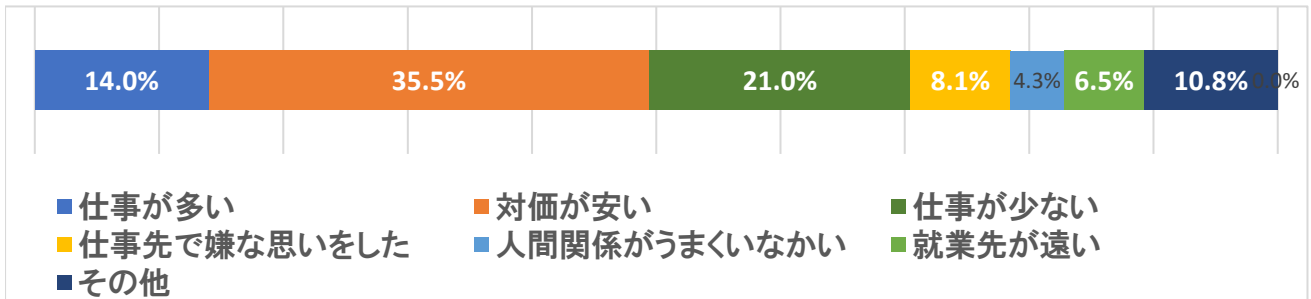
質問5 あなたの主な職班を下記の表から1つだけ選択してください。



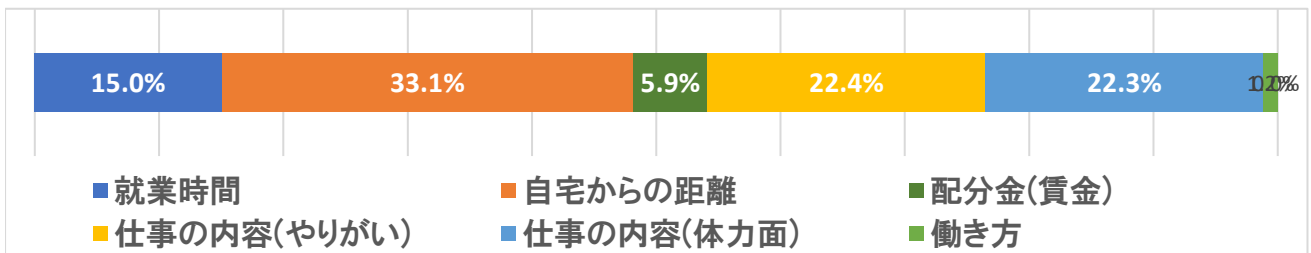
質問5-2 仕事の満足度を下記から1つだけ選択してください。



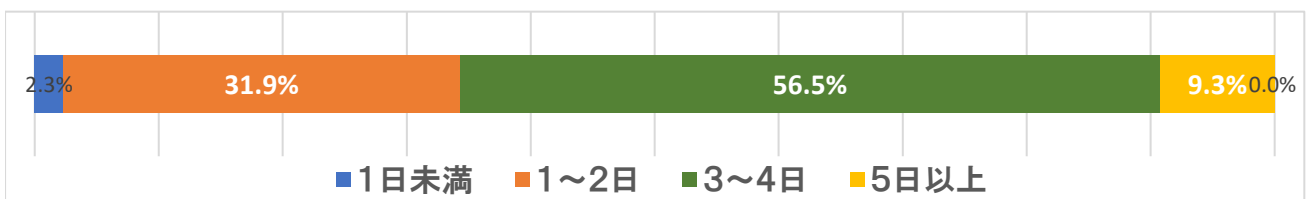
質問5-3 質問5-2でやや不満及び不満と答えた方のみ、大きな理由を1つだけ選択してください。



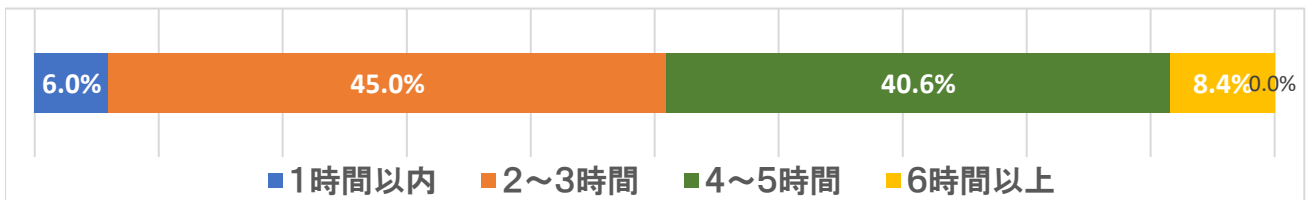
質問6 新しい仕事を選ぶにあたって、最も重要視する条件を下記から1つだけ選択してください。



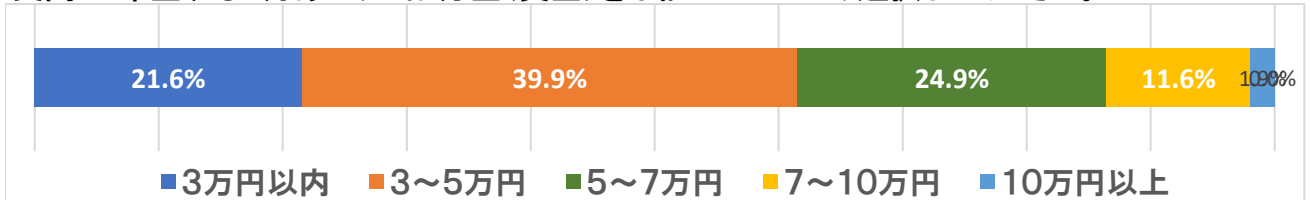
質問7 希望する1週間あたりの就業日数を下記から1つだけ選択してください。



質問8 希望する1日あたりの就業時間を下記から1つだけ選択してください。

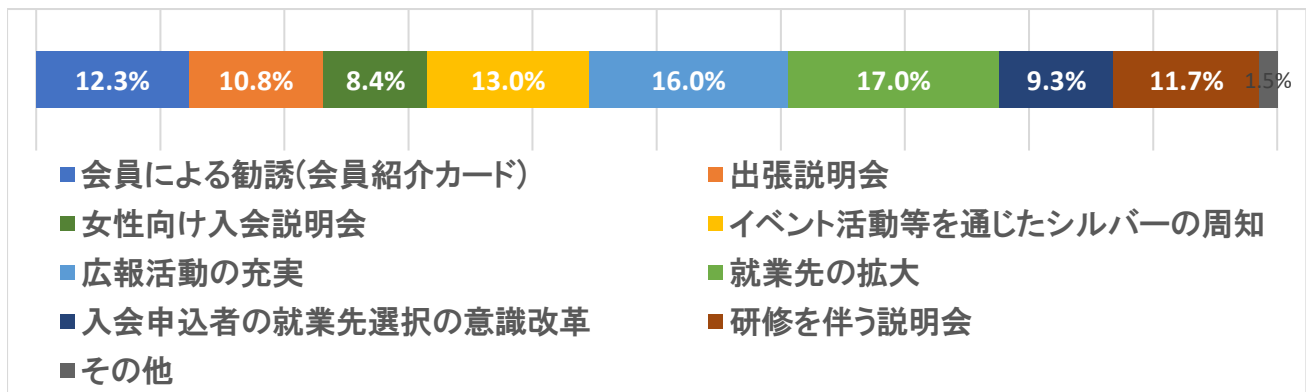


質問9 希望する1月あたりの配分金(賃金)を下記から1つだけ選択してください。

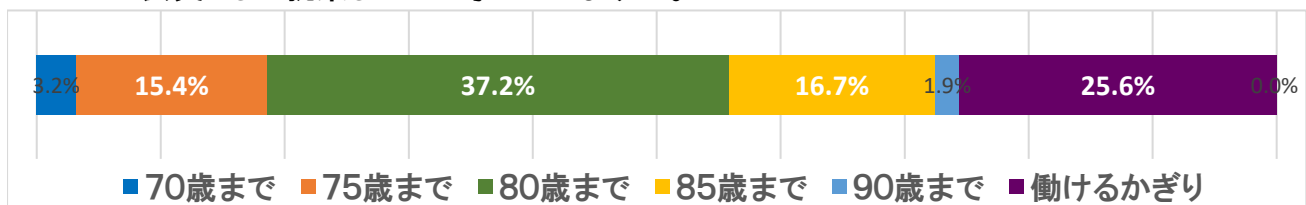


質問10 企業や官公庁の定年延長及び再雇用の促進により、入会者の高年齢化や新入会員の減少が懸念されています。

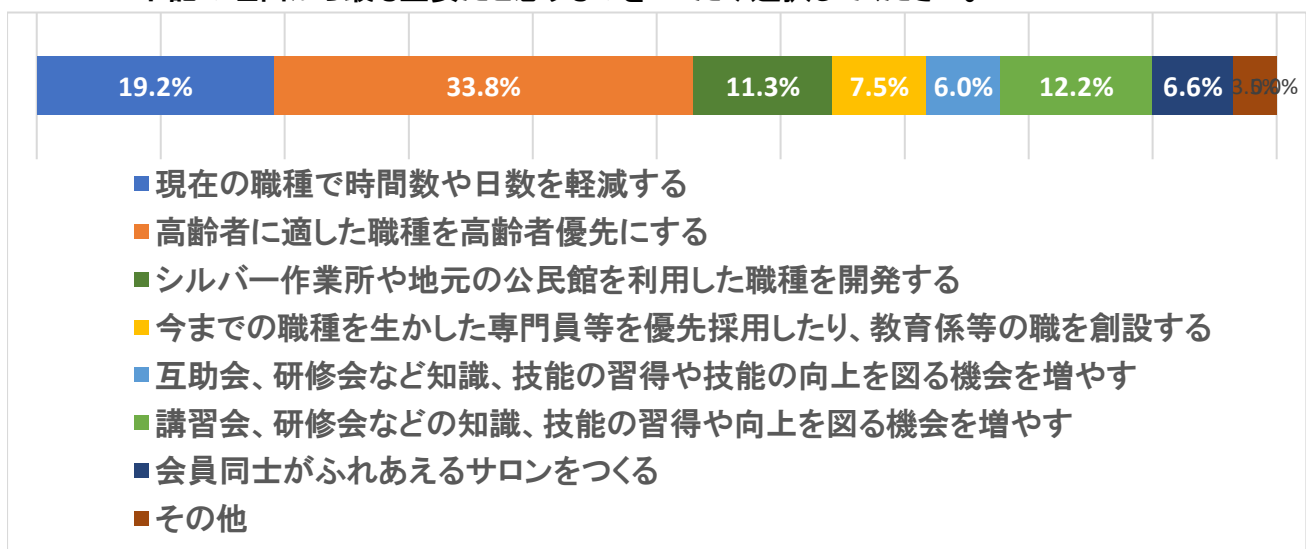
入会促進の方策として効果的であると思うものをすべて選択してください。



質問11 会員の高齢化とともに退会者の増加が懸念される場所ですが、あなたは何歳まで会員として就業したいと考えていますか。



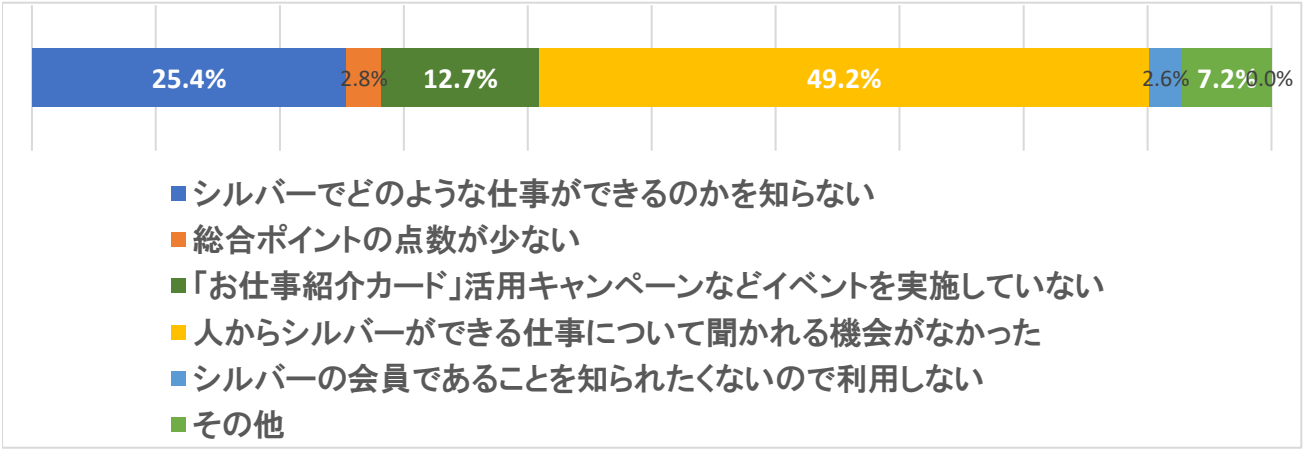
質問12 できる限り会員として長く就業するためには、どのようなことが必要だと考えますか。下記の理由から最も重要だと思うものを1つだけ選択してください。



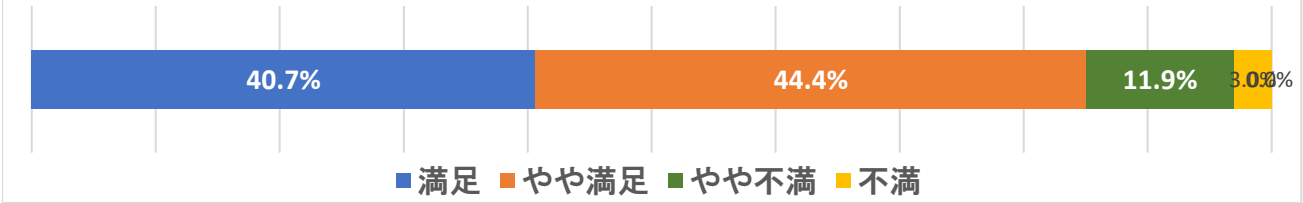
質問13 受注先を開拓し就業先を拡大することに努めているところですが、十分な成果が上げられていません。会員が受注先を紹介する「お仕事紹介カード」制度を知っていますか。



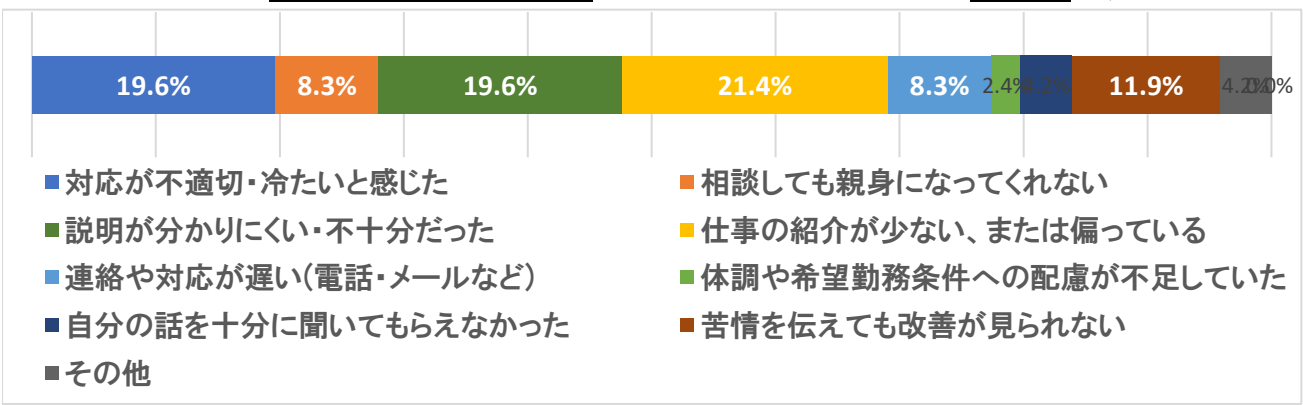
質問13-2 質問13で(2)知っているが、利用したことがないを選んだ方は、下記から理由を1つだけ選択してください。



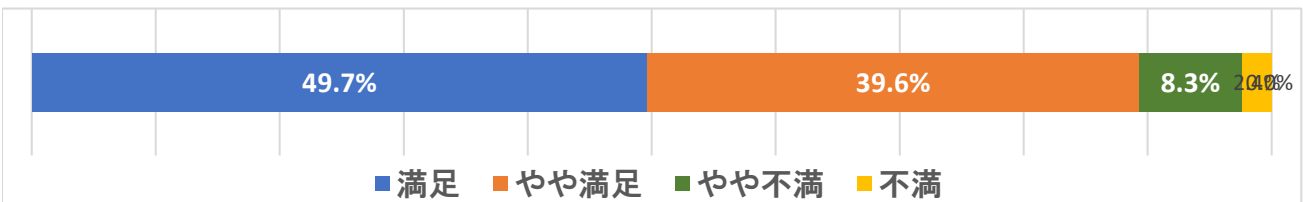
質問14 職員の仕事の案内、就業相談などは親切・丁寧でしたか。



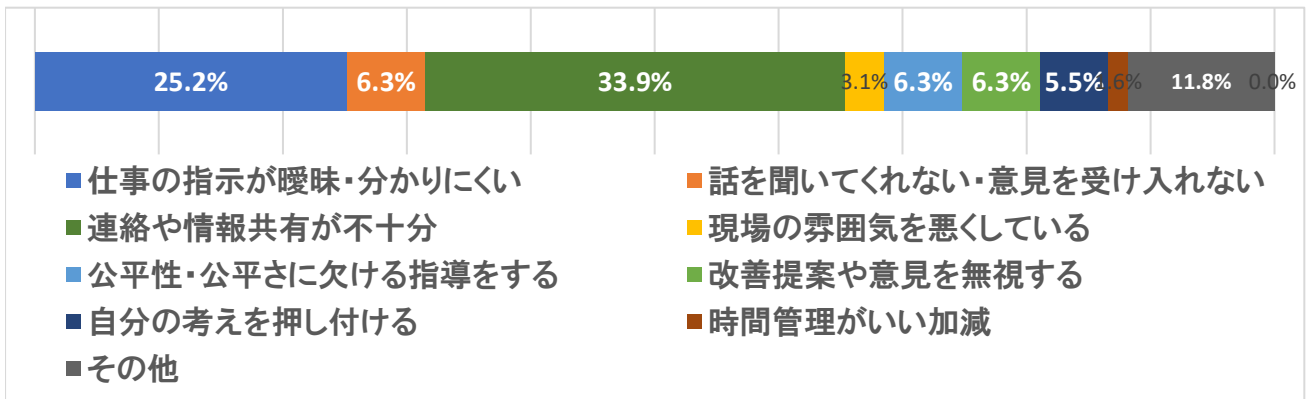
質問14-2 質問14で(3)やや不満及び(4)不満と答えた方のみ、大きな理由を1つだけ選択してください。



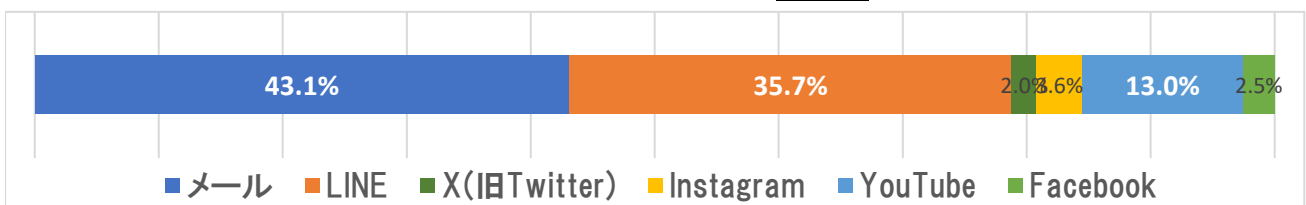
質問15 職員やリーダーの就業連絡などは適切でしたか。



質問15-2 質問15で(3)やや不満及び(4)不満と答えた方のみ、大きな理由を1つだけ選択してください。



質問16 以下のソーシャルメディアで利用しているものをすべて選択してください。



質問17 あなたは、シルバー人材センターに登録し、働いていることを周りの人に公言していますか。

